

大田原市歴史と観光シンポジウム

日時 令和5年3月12日(日) 9時30分 (開場9時)
会場 那須野が原ハーモニーホール
(栃木県大田原市本町1-2703-6)



国宝 那須国造碑



国指定史跡 下侍塚古墳

主催 大田原市歴史と観光シンポジウム実行委員会
共催 観光考古学会
参加 無料・先着順200名・要申込
Web フォームまたは電話でお申込み下さい▶
0287-98-3322
(大田原市なす風土記の丘湯津上資料館)



午前の部 9時30分～11時30分

記念講演会：観光考古学の目指すもの 坂詰 秀一 先生 (立正大学特別荣誉教授・観光考古学会会長)

2019年、文化財保護法が一部改正され、地域の豊かな歴史や文化、それを育んだ自然環境を保護・保存するだけでなく、観光や地域活性化の資源として、積極的に活用する方向性が示されました。遺跡を観光資源として捉え、活用の可能性や条件、方策等について総合的に考えていくことが求められています。



午後の部 13時～16時

シンポジウム2： 観光考古学の実践とその課題

上野 修一
(大田原市なす風土記の丘湯津上資料館長)

地方における史跡活用の課題
—観光との関わりから—

木村 康夫
(前大田原市歴史民俗資料館長)

地域の誇りとしての文化財と観光

那波 市郎
(観光考古学会 副会長)

観光考古学会の設立と経緯

長谷川 涉
(観光考古学会 考古学部会長兼観光部会長)

文化資源の点と線と面

司会 上野 修一

